

# 事業概要【マイナンバーカードをベースとした商業と交通の決済連携による地域活性化】

実施地域	群馬県前橋市	事業費	300,000千円
実施主体	群馬県前橋市	人口	約33万人
事業概要	マイナンバーカードと交通系ICカードの連携により、年齢情報や住所地等の属性情報の資格判定を交通系ICカード1枚で実施し、共通のクラウドシステム基盤を活用することにより、公共交通を利用した来客へのポイント付与や商店での割引、路線バス乗車時の交通系ICカードをワンタッチでの属性割引運賃適用等、移動手段である公共交通と移動先での決済を相互活性させるサービスを構築する。		

## 取組内容

マイナンバーカードと紐付けた交通系ICカード認証/決済により、パーソナライズされた公共交通の運賃と一体での商業サービスを実現する

ぐんま共創モビリティ社会推進事業(群馬版MaaS)  
MaaS関連データ(交通・決済等)

データ連携基盤

まえばしくらしテック事業  
イベント情報等

### マイナンバーカード×交通系ICカード連携



属性  
認証と  
決済

### 路線バス

交通系ICカード1タッチで認証も割引決済も実施。  
提供可能サービス例

- ・市民認証(市民割引)
- ・年齢認証(高齢者割引等)
- ・交通フリーパス等チケット認証



将来

特定の端末に依存しない認証・決済社会へ  
(決済手段はユーザが選定)

汎用的なスマートフォンを活用したパーソナル認証・決済

- ・市街地商店等へ特定機種のスマートフォンを配布し、市民や年齢、交通フリーパス利用者等パーソナルな認証に応じた決済実施。
- 提供可能サービス例
- ・公共交通で来た利用者に対しての割引・ポイント付与サービス等

これまで

専用端末による決済

# サービス概要（1/3）

## ■ サービス内容

サービス名	商業分野におけるスマートフォンへの1タッチ認証・決済サービス	事業費	30,000千円
ターゲット	市街地商店を利用しているユーザ及び潜在的な利用可能性のあるユーザ		
展開エリア	群馬県前橋市		

### サービス内容（事業分野：⑫その他（商業））

移動手段（公共交通）と一体による商業振興・まちの活性化を図るため、以下のサービスを実施。

#### 【マイナンバーカード連携による電子的な認証（商業サービス）】

- ・クラウドサーバー上にて交通系ICカードにマイナンバーカードを認証連携することにより、商業施設での会計時に、交通系ICカードを店舗係員のスマートフォンにタッチするだけでパーソナルな認証（市民・年齢等）を実施のうえ、属性に応じた割引決済を可能とし、商業分野でのマイナンバーカードの利活用の深度化を図る。
- ・路線バス等の公共交通と合わせた利用とすることで、例えば会計時にバスフリーパス利用者に対して割引を適用、商店への移動手段に公共交通を利用した実績に対してポイントを付与するなど、他分野間（交通/商業）での連携を可能とする。
- ・また、マイナンバーカードそのものを認証媒体として活用することも視野に技術実装を進める。



利用時は、交通系ICカードを店舗設置のスマートフォンにタッチするだけ。  
自動で認証し、属性に応じた割引料金の決済を実施する。

#### 想定される属性

- ①年齢による認証（若年層・高齢者）
- ②居住地（市民）
- ③公共交通利用者（フリーパス購入者等）

※まずは市内中心部等にサービス導入推進用スマートフォンを設置。今後更なる利用箇所拡大を図る。

個々のユーザの目的にマイナンバーカードと交通系ICカードの認証を連携させることで、マイナンバーカードの利活用と公共交通を利用した移動を促進させる

# サービス概要（2/3）

## ■ サービス内容

サービス名	路線バスにおける1タッチ認証サービス	事業費	268,000千円
ターゲット	公共交通を現在利用している市民及び潜在的な利用可能性のある市民		
展開エリア	群馬県前橋市		

### サービス内容（事業分野：⑥交通・物流）

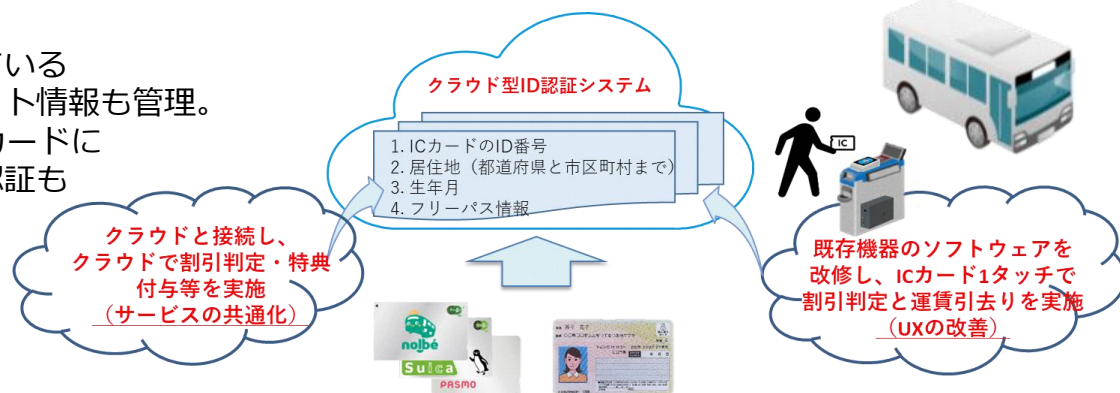
利用者属性ごとにパーソナライズされたサービス提供により利便性を向上させ、公共交通の利用促進に繋げることを目的として以下のサービスを実施。

#### マイナンバーカード連携による電子的な認証（移動サービス）

・クラウドサーバー上にて交通系ICカードにマイナンバーカードを認証連携することにより路線バス乗車時に、交通系ICカード1枚でパーソナルな認証を実施し、属性に応じた運賃割引（市民・高齢者等）を実施する。

#### 同一クラウドサーバーによるフリーパス認証

・マイナンバーカードとの認証連携を実施しているクラウドサーバーにて、フリーパス等のチケット情報も管理。事前に購入済みのフリーパス情報を交通系ICカードに紐づけることで、フリーパス等利用時の利用認証も同じ交通系ICカードにて実施。



※既存交通系ICカードのサービス機能との両立を考慮した設計・開発  
 ※地域連携IC展開エリアでの横展開を可能とする汎用仕様を実現

事業者毎に異なる乗客管理システムだが、共通のクラウドサーバーに接続しサービス内容をクラウドサーバーで管理。

利用者属性の認証・判定にマイナンバーカード、乗車時の認証トリガーとしてマイナンバーカードと連携させた交通系ICカードを使用することで、異なるシステムであっても共通の条件・共通のUX手段にて統一サービスの提供を実施しそのため事業者毎ではなく、公共交通全体として各利用者へ個別最適なサービスの提供及び運賃手法が可能となり、生活や観光など多様なシーンにおいて活用される公共交通において、マイナンバーカード利用が展開される。

# サービス概要（3/3）

## ■ サービス内容

サービス名	ライト会員向けマイナンバーカード連携登録サービス	事業費	2,000千円
ターゲット	スマートフォン等のデジタル機器の操作等が苦手な市民等		
展開エリア	群馬県前橋市		

### サービス内容（事業分野：⑥交通・物流）

以下のサービスを実施

MaaS会員登録を不要としたライト会員向け交通系ICカードとマイナンバーカードの紐づけ登録サービス。

- ・ MaaS会員登録をせずとも交通系ICカードとマイナンバーカードを紐づける「簡易版機能」を実装する。
- ・ 「簡易版機能」では、MaaS上で購入するフリーパス等は利用できないが、マイナンバーカードの居住地情報を活用し、交通系ICカード1タッチで対象となる公共交通での市民認証と認証結果に基づく決済を提供する。
- ・ 「簡易版機能」は市役所・駅等の対面窓口を設置するPC環境で提供するため、スマートフォンの扱いに不慣れなユーザも気軽に利用可能とする。

主な利用シーン・利用ユースケース

- ・ 普段から特定の時間に特定の路線への乗車での利用のみで、web（MaaS）上での経路検索やチケット購入等が不要な市民（主に高齢者等のデジタル機器の操作等が苦手な市民を想定）が、自身の属性に応じた割引施策等を受ける際に必要最低限の情報連携のみを実施することで、デジタル・デバイドを解決し、どなたでもご利用可能な地域交通網の最適化を図る。
- また、ライト会員であっても路線バス等の乗降データには、属性情報も付与されているため、今後の路線再編等の公共交通最適化施策に取り組む際の十分なエビデンスとして活用することができ、EBPMの更なる充実が期待される。

#### ■ 機能

- ・ 交通系ICカードの登録
- ・ マイナンバーカードの情報登録
- ・ 連携登録情報の削除



- ・ 登録場面では市役所・駅等の対面窓口にて、交通系ICカードとマイナンバーカードをタッチするだけ
- ・ 利用場面では交通系ICカードを専用端末にタッチするだけで市民割引等の属性に応じた施策が適用可能

# 事業概要【“ぴよんとうえの”ステージへ。健康活動の見える化と郷土アプリ等構築事業】

実施地域	群馬県上野村	事業費	71,526千円
実施主体	群馬県上野村	人口	1,086人
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナポータル連携機能を実装した健康マイレージプログラムと、地域独自のプラットフォームを実装し、マイナンバーカードの利用シーンの拡大と、更なる地域への定着・利活用を実現する。</li> <li>・各種健康データを分析・可視化し、健康増進活動に活用することで、地域全体の更なる健康増進を図る。</li> <li>・デジタルを通じて住民の生活の質を高め、誰ひとり取り残さない地域を構築し、さらにうえの村を目指す。</li> </ul>		

## 取組内容

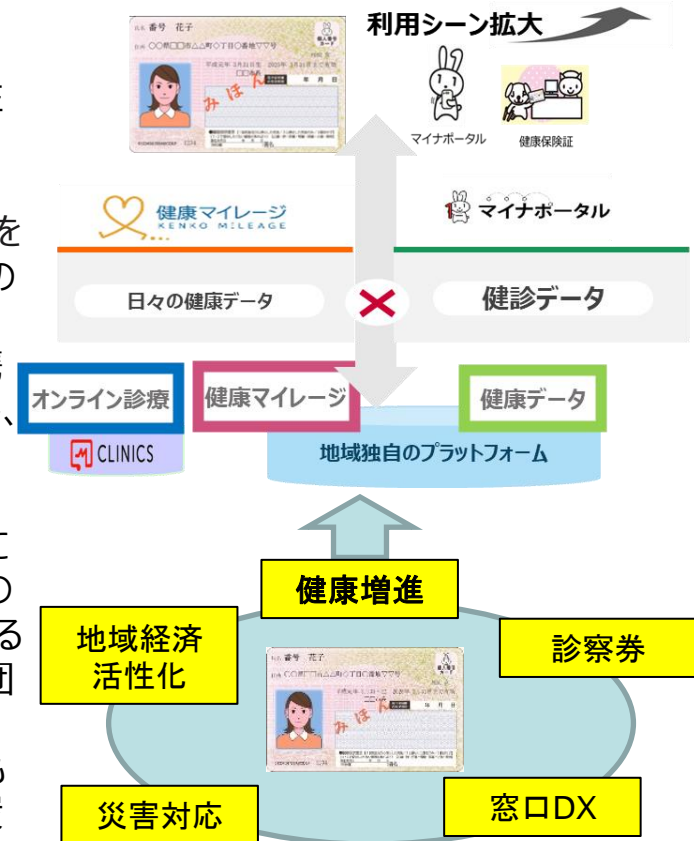
村民カード化構想を推進し、住民のwell-beingの向上を図るため、まずは住民の健康増進を中心とした利用シーンの拡大を図る。

“楽しく健康増進”をコンセプトに、マイナポータル連携機能を実装した健康マイレージプログラムを導入することで、マイナンバーカードに紐づく特定健診データ等を含む健康データを健康マイレージプログラムに自動蓄積させ、マイナンバーカードの利便性向上及び利用シーンの拡大を図る。

加えて、地域独自のプラットフォームを構築し、健康マイレージプログラムを連携させることで、特定健診データ等含む健康データをプラットフォーム上で可視化し、アプリの入り口からデータ分析までを一元管理することで、住民の健康水準の向上を図る。

また、希望する住民に対しスマートフォンやウェアラブル端末を村から貸与し村に住むすべての住民に健康マイレージプログラムを利用できる環境を提供する。その結果、健康増進に向けた活動記録及び特定健診結果をリアルタイムに把握することができ、住民の日々の健康意識改革を促すことができる。行政・健康関連団体は、日々の健康指導業務の効率化及び効果の最大化を実現できる。

さらにオンライン診療システムを導入することで、取得したデータを医療分野でも利活用するとともに、移動を伴わない診療を実現し、住民の利便性向上と脱炭素の促進を図る。



上野村における村民カード化構想(案)



# サービス概要（1/3）

## ■ サービス内容

サービス名	健康マイレージプログラム	事業費	20,327千円
ターゲット	上野村民、保健・福祉・医療従事者		
展開エリア	群馬県上野村		

サービス内容（事業分野：⑤医療・福祉・子育て）

### 1. マイナポータル連携を実装した健康マイレージプログラム

- マイナンバーカードとマイナポータルを紐づけることにより、マイナンバーカードを利用して特定健診を受けた際に、マイナポータル側にも健診データが自動蓄積される。併せて健康マイレージプログラムをマイナポータルと連携させることにより、住民の健診データが健康マイレージサーバにも蓄積される。これにより、住民自ら健康マイレージサーバから健診データを取得することが可能となり、マイナポータルの確認だけでは実現できない、日々の活動状況と健診データ（歩数・心拍数・血圧等、最大95項目）を組み合わせた健康データの確認を、住民が能動的に健康マイレージプログラム一つで実行できる。その結果、健康増進に向けた行動変容につながるとともに、住民のマイナンバーカード利用メリットを最大化させることができる。
- さらに、健康マイレージプログラムに蓄積されたデータを次項に掲げる地域独自プラットフォームと連携させ、蓄積・可視化させる。プラットフォームで可視化したデータを基に、住民への保健指導を行うことで、住民の健康意識向上・健康寿命延伸を実現する。あわせて、スマートフォン及びウェアラブル端末の貸与により、健康データの蓄積量の最大化を図る。
- 加えて、自治体等が実施する健康イベントへの参加を促し、必要に応じて保健指導を行うことで、健康状態の改善に向けた循環サイクルを構築するとともに、マイナポータルアプリの登録と本事業を通じた健康管理の利便性を訴求し、マイナンバーカード利用シーン拡大及び利用定着を推進する。



# サービス概要（2/3）

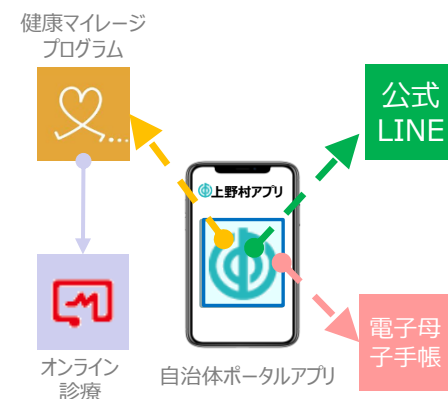
## ■ サービス内容

サービス名	地域独自プラットフォーム	事業費	49,655千円
ターゲット	上野村民		
展開エリア	群馬県上野村		

サービス内容（事業分野：①行政サービス）

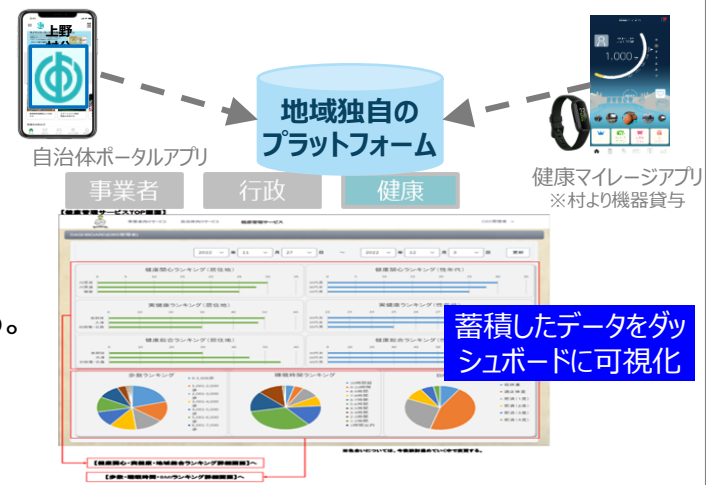
### 2. 自治体ポータルアプリ

- 健康マイレージプログラムやオンライン診療等の利用導線として活用するとともに、既存サービス（公式LINE、電子母子手帳等）のポータルとしても活用する。
- 本アプリを活用し、健康関連の情報を効果的かつ効率的に住民へ届けることができる。
- 自治体、地域事業者等から、住民の属性や居住地等のカテゴリからセグメントした情報発信が行える機能も実装する。
- 災害時には、住民が避難所の検索や避難所への経路検索ができる機能も提供し、早期の避難を呼びかけることで、命を守る行動を促す。
- 住民の生活圏で本アプリの利便性やお得感を感じられるプロモーションを実施（詳細は補足様式に記載）。



### 3. 運用管理システム（ダッシュボード）

- アプリから収集したデータ（属性・操作ログ・動態）と、健康マイレージプログラムから取得した特定健診データ等含む健康データを自動で成形/加工し、webシステム上で見やすく可視化するダッシュボードを実装する。
- 上記データを基に、行政及び健康関連団体(上野村社会福祉協議会、民生委員、食生活改推進委員、健康推進員等)が地域全体の健康状態を把握し、その状態に対応した適切な健康指導を行うことができる。
- 地域全体の健康増進に加え、収集したデータを基に、行政及び地域事業者がアプリを介して能動的に効果的な情報配信（広報・お知らせ・クーポン配信等）を行うことができる。



# サービス概要（3/3）

## ■ サービス内容

サービス名	健康・遠隔医療ソリューション	事業費	1,544千円
ターゲット	上野村民		
展開エリア	群馬県上野村		

サービス内容（事業分野：⑤医療・福祉・子育て）

### 4. オンライン診療(CLINICS)

- 発熱外来患者や定期的な経過観察を行う必要のある住民、行動制限のある住民に対し、アプリからいつでも診療予約やタブレット等を用いたオンライン診療を受診することを可能とする。診療開始時にマイナンバーカードにて本人確認を実施。
- 患者情報をデータベースで一元管理し、予約-カルテ-診療-決済までをワンストップでサポート。
- 行動制限のある住民の負担軽減になる他、不足している医療従事者の往診等の負担軽減につながる。
- 健康マイレージプログラム上で取得した健診データを、住民自身がアプリで確認できることで、各住民に合った的確な診察を実現し、全世代が健康に暮らせる環境を整える。



診療開始時にマイナンバーカードで本人確認

後日の検査結果の説明も自宅を受診可能  
※今後の診療もオンラインで実施  
→検査結果の診療やその他の診療において、健康マイレージプログラムより取得したデータも参考値として活用

診療予約・事前問診回答・診察・オンライン診療後のクレジットカード決済まですべてアプリで完結



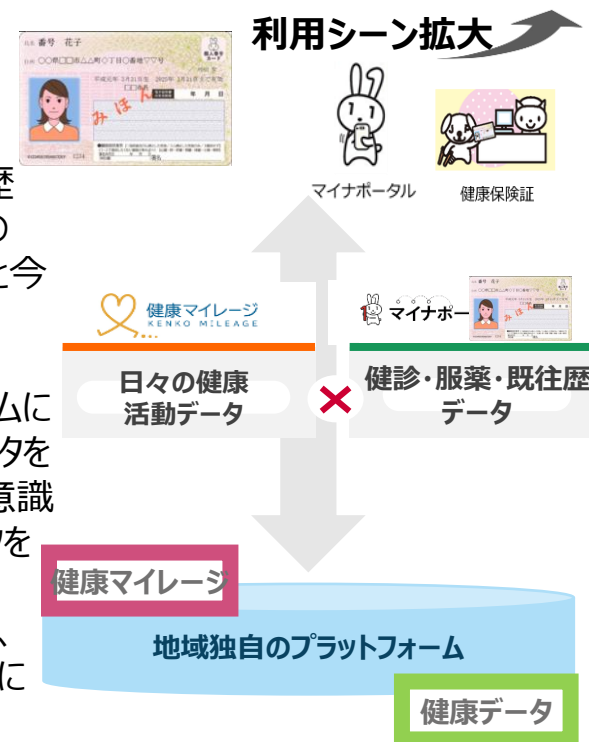


# 事業概要【マイナンバーカード及びマイナポータル連携健康マイレージプログラム実装及びプラットフォーム連携】

実施地域	群馬県長野原町	事業費	27,693千円
実施主体	群馬県長野原町	人口	5,326人※2022年12月末時点
事業概要	<p>・町独自のプラットフォーム及び健康マイレージプログラムを軸としたマイナンバーカードの利用シーン拡大と、更なる地域への定着・利活用の推進に向け、健康マイレージプログラムへのマイナンバーカード・マイナポータル連携機能の追加実装(マイナンバーカードに紐づく健診・服薬・既往歴データの自動蓄積が可能)を行う。また、取得できる健康データを実装済みのプラットフォームで分析・可視化し、行政等で活用することで、更なる健康増進を図る。</p>		

## 取組内容

昨年度町に実装した“楽しく健康増進”をコンセプトとした健康マイレージプログラムへ、マイナンバーカード連携機能（利用登録時にカード情報を読み取り）・マイナポータル連携機能を追加実装し、マイナンバーカードに紐づく特定健診結果・服薬履歴・既往歴等の健康データを健康マイレージプログラムに自動蓄積させ、住民のマイナンバーカードの利便性向上及び利用シーンの拡大を図る。加えて、昨年度に実装したプラットフォームと今回追加機能実装する健康マイレージプログラムを連携し、プラットフォーム上で可視化するデータ分野を拡充する。（特定健診データ等含む健康データが新たに蓄積できる）その結果、健康増進に向けた活動記録及び特定健診結果を1つのアプリからリアルタイムに把握できるため、健康管理に関する利便性を住民へ享受できる。また、蓄積されたデータをアプリ側で自動分析し、アプリ経由でのAIによる健康指導を行い、住民の日々の健康意識改革を促すことができる。災害時には、アプリに蓄積された服薬履歴・既往歴等のデータを活用し、避難所等での応急的な処置が行える体制を構築できる。加えて、行政・健康関連団体は日々の健康指導業務の効率化及び効果の最大化を実現する。並行して、上記で再構築した基盤を継続的に進化・発展させていくPDCAサイクルを確立するために産学官連携でのコンソーシアムを立ち上げる。



# サービス概要 (1/1)

## ■ サービス内容

サービス名	マイナンバーカード及びマイナポータル連携健康マイレージプログラム実装及びプラットフォーム連携	事業費	27,693千円
ターゲット	住民、健康福祉団体、行政		
展開エリア	群馬県長野原町		

### サービス内容 (事業分野：①②⑤)

#### 【健康マイレージプログラムへのマイナンバーカード認証・マイナポータル連携機能追加】

健康マイレージプログラムにてマイナンバーカード・マイナポータルに紐づく特定健診結果・服薬・既往歴データの自動蓄積を可能にし、各種健康データの可視化による住民の健康意識向上、それに伴う行動変容を実現。マイナンバーカードを利用して特定健診等を受けた住民は、健康マイレージプログラム1つで日々の健康活動状況・健診結果を時間・場所問わず把握できる利便性を体感できると共に、健康マイレージプログラムに蓄積されたデータ（歩数、睡眠時間、BMI等最大95項目の健診データ）を基にした、適切な健康指導をアプリのAI機能及び保健師から受けることができる。加えて、災害時の避難所においても自身の服薬履歴や既往歴等のデータに基づいた適切な処置を受けることができる。

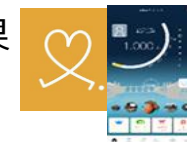
#### 【長野原町プラットフォームへの健康データ連携】

健康マイレージプログラムに蓄積されたマイナンバーカードに紐づく特定健診結果等含む健康データをプラットフォーム上で自動分析・可視化。加えて、希望する住民へウェアラブル端末を貸与することで、健康データの蓄積量の最大化を図る。その結果、マイナポータルで確認できるデータに加え、日々の健康活動状況含む住民の個々の健康データと地域全体の健康状態・生活習慣を様々な属性に紐づいた形で把握し、より実状に即した健康施策の立案、行政・医療機関・福祉団体の健康指導業務の効率化及び指導効果の最大化による住民の健康意識向上・健康増進を実現。

#### 【マイナンバーカードの利用促進・定着】

健康マイレージプログラムの一環として各種イベントを開催し、その中でマイナポータルアプリの登録と健康マイレージプログラム1つで健康管理の利便性を訴求し、マイナンバーカードの利用シーン拡大及び利用定着を推進。

#### 健康マイレージプログラム



#### マイナンバーカード認証・ マイナポータル連携 健康マイレージプログラム



日々の健康活動データ 健診・服薬・既往歴データ

健康マイレージ上の住民個々の健康管理画面



#### 地域独自のプラットフォーム

ダッシュボード

